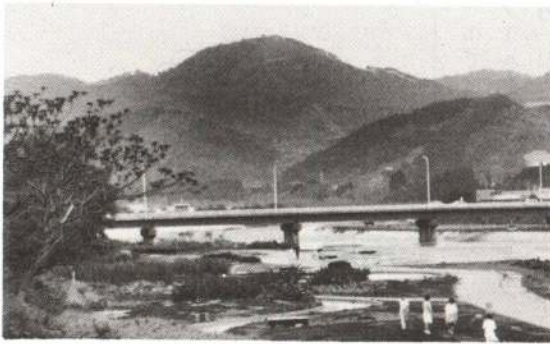


大館の歴史散歩

鳳凰山 上下

火内の山々 ②



文治五年(一一八九)比内地方を治めていた河田次郎は源頼朝に斬罪に処され、以後、当地は浅利氏が地頭職として所領した。浅利氏の本拠地は甲斐国青島庄浅利郷(現山梨県東八代郡豊富村)である。

浅利郷の北西約二八キロ程に、地蔵ヶ岳(標高二、七七〇)観音ヶ岳(同二、八四一)薬師ヶ岳(同二、七六五)等の二、〇〇〇級の山岳群からなる鳳凰連山がある。鳳凰山については、地蔵ヶ岳を鳳凰山とする一山説、観

音ヶ岳・薬師ヶ岳を鳳凰山とする二山説、これら三山を総称して鳳凰山とする三山説があった。歴史的に鳳凰山がどの峰、どの山塊をさすかは地元でも確定していないようである。

いずれにしても甲斐の鳳凰山は、真言密教の修験者によって開かれた仏教修行の場であったという開山伝承があり、奈良時代からの山岳信仰の山であったことが知られている。また、鳳凰山麓には、鳳凰山の遙拝所として、真言密教の道場として、山号を鳳凰山と称する寺院が多く存在するといふ。

浅利氏と鳳凰山信仰あるいは真言密教との関係は不詳であるが、その結びつきは、甲斐浅利氏の祖である義成の墓と伝えられる五輪塔が真言宗大福寺にある点、比内浅利氏の祈願所であった独鈷の立昌寺が元は真言宗に属し金剛山竜叔寺と称していたという点から確認できるのではなからうか(『比内町史』)。ちなみに豊富村役場に照会したところ、晴れた日には、鳳凰連山が望めるとの回答があった。

浅利氏の故郷で古代に開山された甲斐鳳凰山を眺め仰ぐことができ、その信仰とのかかわりがあった様子も知られることは、比内鳳凰山命名に浅利氏の関与が強くあつたとみてよいのではなかろうか。それは比内浅利氏の位牌所である玉林寺の山号によって補充されよう。

比内鳳凰山の名称は、十三世紀に入部した第一次浅利氏、あるいは十六世紀中頃に入部した第二次浅利氏によって名付けられたと考えられるが、そのどちらであったか、あるいは今回検討した以外の命名事実があるのか、ふるさとの山「鳳凰山」の名称起源については興味つきなところである。

▽甲斐鳳凰山については『韭崎市史』によつた。
〈市役所史跡探訪会〉

私の本棚

中央図書館新着図書

「ルポ老人病棟」 大熊 一夫 朝日新聞社

高齢化社会を迎えた日本の老人医療・老人福祉の現場に潜入し、その立ちおくれを北欧諸国などとの対比を通して鋭く指摘する。



一般書

- ◇仮釈放(吉村昭)◇黒錆(北方謙三)◇パナマ運河の殺人(平岩弓枝)◇花の降る午後(宮本輝)◇蟬しぐれ(藤沢周平)◇黒い神座(森村誠一)◇緒方洪庵の妻(西岡まさ子)◇原っぱ(池波正太郎)◇センチメンタル、シティ(落合恵子)ほか

児童書

- ◇ぼっぺん先生と鏡の女王(舟崎克彦)◇泥棒をつかまえろ!(オットー・シュタイガー)◇カレーのしまのおひめさま(岡田ゆたか)ほか

6月のテーマ関連図書コーナー

『快適な住まい』

親子読み聞かせ会

毎週金曜日午後2時30分から

中央図書館の休館日 6月19日、23日

暴力団追放

平和な市民生活を守ろう

マスコミの報道等によりご承知のことと思いますが、先般、広域暴力団員が大館市内において活動していた事実が明らかにされました。

今回は、大館警察署の取り締まりにより、大館への進出は未然防止できたかのように思われますが、今後とも予断を許さない状況にあります。大館市議会では三月定例会において暴力団追放決議宣言をし、さらに五月二十五日には大館地区防犯協会連合総会でも同様に暴力団追放決議を宣言したばかりです。

平和な市民生活を守り、脅かされないためには、監視の目をゆるめてはなりません。もし身近に不審な人物がいたなら、すぐ一〇番で情報の提供をお願いします。

私たちの勇気と行動が平和な生活を守る基本です。皆さんのご理解とご協力をお願いします。なお、六月十八日午後一時三十分から市民体育館で『暴力団追放市民大会』を開催しますので多数参加くださるようお願いいたします。